



2023年7月25日

各 位

会社名 H E R O Z 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役 Co-CEO 林 隆弘  
(コード番号：4382 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員 CFO 森 博也  
(TEL 03-6435-2495)

プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更）  
並びにスタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月10日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。今般、直近基準日（2023年4月30日）時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況及び適合に向けた進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

また、直近でのプライム市場の上場維持基準への適合状況を踏まえ、2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」という。）の規則改正に伴う対応について検討した結果、本日開催の取締役会において、スタンダード市場への選択申請を行うことを決議し、東京証券取引所へ申請いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. プライム市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年4月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め以下のとおりとなっております。

2023年4月30日時点においては、「流通株式比率」及び「流通株式時価総額」については、プライム市場の上場維持基準の適合状況において不適合となっております。また、「流通株式比率」に関しては、2021年6月30日（移行基準日）時点においても、基準に適合しておりません。

		流通株式時価総額（円）	流通株式比率（％）
当社の 適合状 況及び 推移	移行基準日時点 (2021年6月30日)	13,163,563,703	33.6
	2022年4月30日時点 (前回基準日時点)	4,981,954,654	33.6
	2023年4月30日時点 (直近基準日時点)	6,415,340,657	34.5
上場維持基準		100億円以上	35%以上
計画期間		2026年4月期	2026年4月期

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

### (1) 基本方針

当社では、「驚きを心に」をコンセプトとして、人々の生活が便利に楽しくなるように、AIを活用したサービスを提供しておりますが、今後も継続的な企業価値向上を目指しつつ公正・誠実な事業活動を行うと共に、当社の事業拡大に応じた内部管理体制の強化を行うことで、より一層のコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでまいりました。

### (2) 「流通株式比率」について

#### ・取組の実施状況

2021年12月10日に提出した計画書において、当社は第6回新株予約権、第7回新株予約権、第8回新株予約権、および、第11回新株予約権を従業員に付与しており、中長期的な成長戦略を実行することで企業価値を向上させ、従業員にとって行使しやすい環境の整備を行うこと、加えて、更なる流通株式比率向上のため、一部の事業会社等が保有する当社株式の市場売却等を目指すことを計画として定めておりました。加えて、2022年12月に第12回新株予約権及び第13回新株予約権の発行を発表致しました。

#### ・取組に対する評価

事業会社等が保有する当社株式の売却が進み、流通株式比率は33.6%から34.5%へと上昇いたしました。一方で、新株予約権の行使については今後徐々に行使されていくことを想定しているため、現段階においては事業計画の遂行を通じた企業価値を向上させていくことで、新株予約権の行使を促進し、流通株式比率の達成に取り組んでまいります。

### (3) 「流通株式時価総額」について

#### ・取組の実施状況

前回基準日時点で流通株式時価総額は49億円となり、プライム市場の上場維持基準が求める100億円以上の基準に不適合となりました。

当該状況を受け、当社は「流通株式比率」の向上に加え、課題となっているBtoBサービスにおいて成長戦略を実現していくことにより、中長期的な戦略の実現を通じて、企業価値向上を図ることを計画として定めておりました。計画期間としては、BtoCサービス・BtoBサービスそれぞれにおいてKPIを設定し、それに基づいた事業戦略等を遂行することにより、2026年4月期までに売上の向上を見込み、同時期までの流通株式時価総額100億円以上の達成を目指してまいりました。

#### ・取組に対する評価

当社は、2023年4月期よりセールス組織を組成しBtoBサービスの業績向上を図ったほか、2023年4月期第2四半期においてバリオセキュア株式会社及び株式会社ストラテジットを連結子会社化し、非連続な成長を実現することができました。ただし、2023年4月30日時点においては、流通株式時価総額は64億円となり、前回基準日比での成長は実現したものの、プライム市場の上場維持基準が求める100億円以上の基準には引き続き不適合となりました。

当社は「流通株式比率」の向上に加え、前期に引き続きオーガニックな成長及びM&Aによる成長を実現していくことにより、企業価値向上・流通株式時価総額向上を図ってまいりたいと考えています。

### 3. スタンダード市場の選択理由

今般の東京証券取引所の規則改正に伴い、これまで明確化されていなかった経過措置の終了時期が2025年3月とされ、当社のように従前から2025年3月以降に基準達成期限を設定している会社に関しては当該期限まで猶予期間はあるものの、2026年3月以降は監理銘柄に指定されることとなりました。

このような状況を鑑み、当社といたしましては、株主や投資家の皆様が上場維持に対する不安を抱くことなく安心して当社株式を保有・売買できる環境を確保すること、また、プライム市場の上場維持基準の充足のための短期的な目線ではなく、中長期的な目線で計画遂行のために経営資源を振り向けることが、当社の成長や企業価値向上に資すると判断し、スタンダード市場を選択することといたしました。

### 4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

当社の2023年4月30日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりであり、全ての基準に適合しております。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	月平均売買高	純資産の額
当社の適合状況	2023年4月末時点	8,165人	51,870単位	64億円	34.5%	8,942単位 (※2)	60億円 (※3)
スタンダード市場の上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%	10単位	正

(※1) 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株式等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

(※2) 月平均売買高につきましては、当社が2023年1月から6月までの合計売買高を6で除して算出しております。

(※3) 当社が2023年6月9日に開示しております「2023年4月期 決算短信[日本基準](連結)」の連結貸借対照表に基づいて算定される純資産の額を記載しております。

上記のとおり、当社はスタンダード市場への上場の選択申請時点で同市場の全ての上場維持基準に適合していることから、今後、上場維持基準の各項目の判定基準日時点において、同市場の上場維持基準のいずれかに適合しない状況となった場合を除き、「スタンダード市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」の開示の必要はありません。

なお、スタンダード市場への市場区分の変更後におきましても、プライム市場の上場維持基準への適合のために計画していた事業も含めて、企業価値向上を目指してオーガニックな成長・非連続な成長のための各種施策を推進するとともに、当社株式の流通性向上についても継続して取り組んでまいります。

### 5. スタンダード市場への市場区分の変更予定日

スタンダード市場への市場区分の変更予定日は2023年10月20日(金)となります。

以上